

Nordic Market Biweekly Report

情報提供資料

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

2015年12月1日

★為替・金利の動向

対円レート推移

(2015年11月13日～2015年11月27日) ※単位は円

	11月13日	11月20日	11月27日	期間中騰落率
ノルウェー・クローネ	14.12	14.27	14.17	-0.4%
スウェーデン・クローナ	14.20	14.15	14.05	-1.1%
デンマーク・クローネ	17.75	17.66	17.44	-1.7%
ユーロ(フィンランド)	132.45	131.76	130.13	-1.8%

※為替は三菱東京UFJ銀行発表の日本時間午前10時仲値を参照

期間中(2015年11月13日～11月27日)、北欧4カ国の通貨はノルウェー・クローネを除いて下落しました。

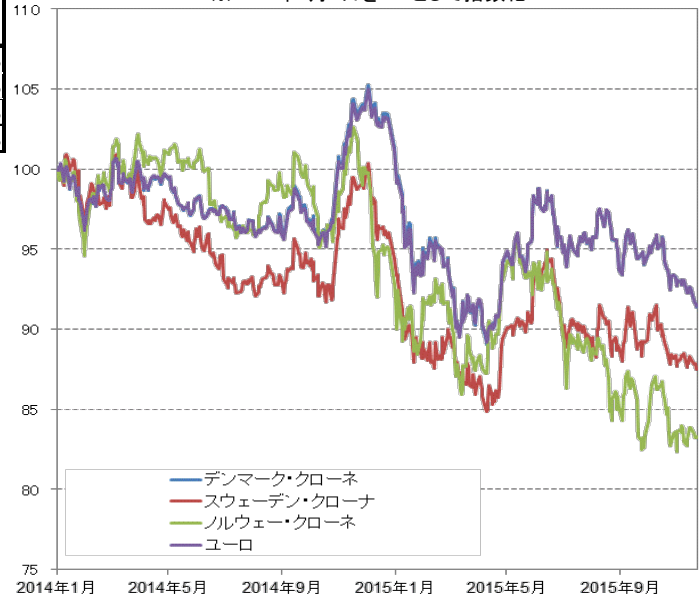
ノルウェー・クローネは、石油・海運を除く2015年7-9月期ノルウェー本土実質GDP(前期比)が+0.2%と予想を上回ったことが好感され上昇しました。デンマーク・クローネは、ECB(欧州中央銀行)による12月の利下げを含めた追加緩和への観測が強まったことを背景に、デンマーク国立銀行(中銀)も12月に利下げに踏み切るとの観測が強まり、下落しました。

※デンマーク・クローネは、ユーロにペッグされているため、ユーロとほぼ同様の動きとなっています。

対円レート推移

(2014年1月6日～2015年11月27日)

※2014年1月6日を100として指数化



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

銀行間取引金利3カ月物推移

(2015年11月13日～2015年11月27日) ※単位は%

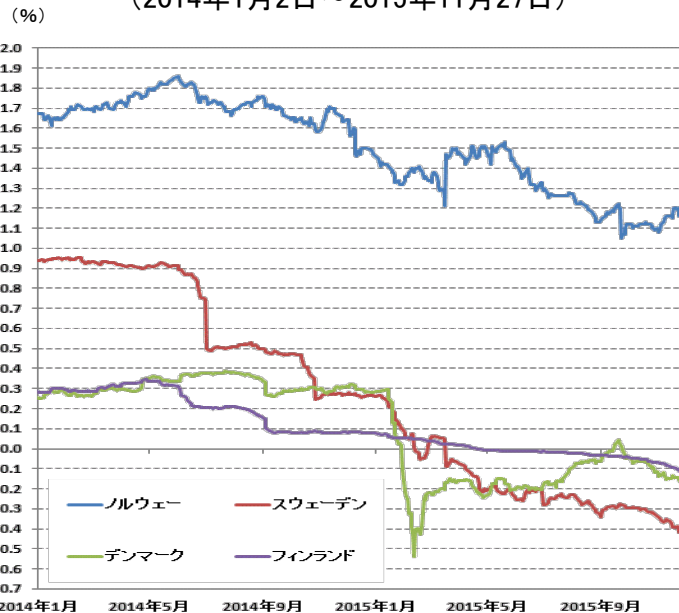
	11月13日	11月20日	11月27日	期間中変動幅
ノルウェー	1.160	1.200	1.160	-0.000
スウェーデン	-0.357	-0.393	-0.409	-0.052
デンマーク	-0.148	-0.143	-0.165	-0.017
ユーロ圏(フィンランド)	-0.083	-0.095	-0.113	-0.030

期間中(2015年11月13日～11月27日)の北欧4カ国の銀行間取引金利の動きは、ノルウェーを除いて低下しました。

スウェーデンの銀行間取引金利は、先月28日に同国中銀が量的緩和プログラムでの債券購入規模を拡大して以降、低下傾向にあります。また、ECBによる量的緩和に加え、12月での追加緩和観測への強まりを背景に、ユーロ圏銀行間取引金利も低下を続けています。

銀行間取引金利3カ月物推移

(2014年1月2日～2015年11月27日)



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年12月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

Nordic Market Biweekly Report

情報提供資料

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

2015年12月1日

☆北欧ニュース

<ノルウェー：生徒1人あたりに費やす教育費世界第3位>

OECD(経済協力開発機構)が発表した「図表でみる教育2015年版」によると、2012年におけるノルウェーの生徒1人あたりに費やす教育費は、ルクセンブルグ、スイスに次いで34か国中第3位です。年間で約15,500ドルを費やしており、OECD平均の10,220ドルを優に超えています。ノルウェーでは女性がより高い教育を受ける傾向にあるのに対して、収入については男性の方が高い傾向があります。高等教育を受けたノルウェー女性の全体的な収入は同水準の男性に比べ、約75%に留まっており、OECDは伝統的な女性と男性の職業選択の違いとパートタイム雇用者に占める女性の割合が高いことが主な要因であると結論しています。

<デンマーク：デンマークで「ブラック・フライデー」>

ブラック・フライデーとは、米国で感謝祭(11月第4木曜日)の翌日の金曜日に、伝統的にクリスマス商戦が開始する日のことです。デンマークでは近年米国流のイベントが人気を博しているようで、10月の最終週になると町はハロウィン衣装で身を包んだ子供たちで賑わい、そして感謝祭が無いにもかかわらず、11月第4金曜日に7割近くの小売店が大幅な値引きセールを始めるようになっています。デンマーク商工会議所によると、2014年のブラック・フライデー当日のデビットカード取引額は15億クローネ(約260億円)と、1日当たりの取引額ではデンマーク史上の上位を記録しました。また、同商工会議所の調べでは、全デンマーク人の約半数はブラック・フライデーを認識しており、30歳以下の5人に1人はこの日にクリスマスの買物を何かしら計画しているとのことです。

<スウェーデン：ボルボが未来の車のインテリアを発表>

11月18日、米国で開幕したロサンゼルス・オートショー2015で、ボルボは「コンセプト26」を初公開しました。「コンセプト26」は、将来の自動運転車のインテリアを示した模型であり、エンターテインメントやサービスの提供など、車内の新しい可能性を広げることを目標にしています。ドライバーが運転を自動運転に切り替えると、ハンドルは格納され、シートは後方へ倒れます。ダッシュボードからはディスプレイが出現し、ドライバーはテレビを見たり、音楽を聴いたり、車内で好きな時間を過ごせるのです。自動車の車内体験全体を再創造する「コンセプト26」の実用化が期待されます。

<フィンランド：フィンランド議会が2016年にユーロ圏離脱の是非について審議を予定>

フィンランドは北欧4ヶ国の中で唯一ユーロを導入している国ですが、フィンランド議会は来年、ユーロ圏離脱の是非について審議する予定であることを、議会運営部門の幹部が明らかにしました。フィンランドでは、ユーロ圏離脱を問う国民投票の実施を求める署名集めが行われており、5万人の署名が集まれば、議会で審議をすることが出来ます。一部では、既にユーロ離脱を求める署名が必要数に達したとの報道もあります。フィンランド経済は、マイナス成長が続くなど厳しい状況となっており、ユーロ圏の中でも最も低迷しています。フィンランド国内では、ユーロ圏を離脱することにより、自国通貨を導入し、通貨を切り下げることで、輸出促進が期待できるとの見方が浮上しています。

出所：各種資料をもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

※ 文中に登場する企業名等は情報提供のためのものであり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年12月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。